

【実践編】 しみず認定こども園

しみず認定こども園 教育・保育目標
げんきな子 やさしい子 がんばる子

研究主題

『互いを受け止め合い 心豊かに育ち合える子どもを目指して』
～子どもの育ちに必要な発信と連携～

《仮説1》

保育者や保護者が共通認識をもってかわり、ほめたり認めたりすることで、幼児一人一人が自己肯定感を高め、伸び伸びと過ごしたり、互いを認め合ったりすることができるようになるだろう。

- ・言葉かけの工夫
- ・発達に合わせた環境構成
- ・子どもの姿の発信と共有
- ・子どもの姿の見取りと共通理解

《研究の方法》

- ・事例研究
- ・保育ドキュメンテーションの発信
- ・保育者同士の参観
- ・悩みの共有、協議

園内研修から抜粋

たんぽぽ1組（3歳児）

○当番活動○

（4月）今年度から始まった当番活動に期待をもち、自分の順番がくることを心待ちにしていた。

前日に翌日の当番を知らせていた。「明日は誰かな？」「私はいつ？」という声が多く、期待していた分、見通しがもてず、不安そう…

（保育者の思い）見通しがもてたら、安心して自分の順番を待てるかな？

（現在）全員の写真を並べて順番に当番がくることを伝えるようにした。

結果、「あと何回で私の番だ」「〇〇くんの次は僕だね」と、より期待感と安心感をもって過ごせるようになった。



① ② ③ ④ ⑤



さくら 2 組 (4 歳児)

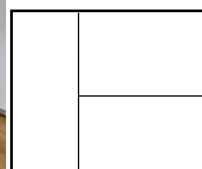
○ 遊びこめる保育室の環境とは○

見立てあそびの充実

赤ちゃんの面倒を見たり、メイクをしたりする場所。
後ろにはキッチンがある。



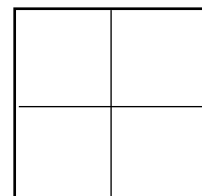
本
棚



玩具棚

キッチン

配
膳
机



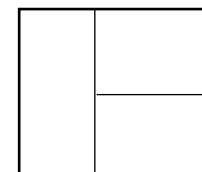
水
道

お道具箱

お道具箱



ブロック



制作机

制作机

棚



制作コーナー

見本を貼ることで真似をしてつくろうとする子がいる。

ブロックは仕切りの中だけで遊ぶルール。作品はこの
中に飾り、後で続きができるようにしている。

困っていること。。。

保育室の中では座っての遊びを楽しんでほしい
と思って環境を整えている。しかし、中には、戦い
ごっこでしか遊ばない子が数名いる。戦いごっこ
のスペースを設けていない為、他の遊びに誘って
もその遊びが激しくなったり、何もせず寝転がっ
たりしている。戦いごっこができるスペースをつく
った方が良いのか、遊びの種類を増やした方が
良いのか…

さらに工夫。。。

- ・机を拭くバケツの場所に分かりやすいマークを付ける。
- ・絵カードを見て行動できるように、箇所ごとに貼っておく。
- ・ままごと遊びの充実。
- ・カードゲームやボードゲームなど種類豊富で友達と一緒にできる遊びを増やす。